

令和5年第2回定例会一般質問(3月14日)

比嘉 秀康 議員 TEL080-6490-5658 P9

- ①給食センターの業務について
- ②恩納村結婚新生活支援事業について
- ③本村の水道管(管路)の現状について

大城 節子 議員 TEL965-3197 P10

- ①自家用有償旅客運送について
- ②防災無線について
- ③生理の貧困について

當山 達彦 議員 TEL966-2164 P11

- ①農業振興について
- ②マイナンバーカードについて

新城 哲 議員 TEL967-8967 P12

- ①ひとり親家庭の自立支援の取り組みについて
- ②児童生徒の安全・安心の確保について
- ③県民の森について

又吉 貢 議員 TEL090-3795-6084 P13

- ①国道58号線仲泊～南恩納間二輪車通行規制について
- ②山田区村有地について
- ③オーバーツーリズムについて

宮崎 匠 議員 TEL964-5500 P14

- ①恩納村文化情報センターにおけるOA機器の導入によるネットワーク環境の整備について
- ②本村におけるペーパーレス化の取り組みについて
- ③本村独自の事業者への物価高支援対策について
- ④沖縄電力の値上げに対する村民をはじめとする村内事業者への対応及び支援について
- ⑤不登校児童生徒に対する本村の対応について

喜納 正誠 議員 TEL964-2580

- ①3期目の公約について
- ②令和5年度施政方針について
- ③真栄田岬の件について



記事掲載なし

令和5年第2回定例会一般質問(3月15日)

安里 周作 議員 TEL966-8352 P15

- ①児童生徒のマスク着用について
- ②水産業に対する支援について
- ③農業の振興について
- ④がん検診について

當山 直彦 議員 TEL090-1945-6074 P16

- ①恩納村地域福祉推進計画の評価と改善について
- ②介護予防事業について
- ③子育て世代の定住促進について

亀谷 梢 議員 TEL966-2115 P17

- ①給食費の無償化について
- ②恩納村文化伝承・継承について
- ③健康増進について
- ④女性の地位向上について

大城 保 議員 TEL964-3841 P18

施政方針から

- ①村立保育所民営化について
- ②学校給食について
- ③生涯スポーツ推進について
- ④観光農園市場調査について

山田 政幸 議員 TEL967-8485 P19

施政方針から

- ①観光業の振興について
- ②恩納村公民館等施設整備事業補助金交付要綱(案)について

佐渡山 明 議員 TEL966-2443

- ①空き家の活用について
- ②恩納村斎場周辺の墓地整備について
- ③沖縄子供の貧困緊急対策事業について

通告のみのため記事掲載なし

記事掲載なし

大城 堅三 議員 TEL966-2393 P20

施政方針より

- ①自然環境の保全創出について
- ②沖縄科学技術大学院大学の推進について
- ③施政方針・所信表明より

令和5年第4回恩納村議会定例会のご案内

6月定例会は、6月7日(水)を予定しています。



比嘉 秀康 議員

給食センターの業務について

質 給食センター調理業務、配達業務の民間委託の推進で得られた成果を伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）
行財政集中改革プランは、平成17年度から平成21年度までの5年間の期間が定められていました。調理・配達業務職員を退職不補充とし、委託職員で対応し経費の削減を図り、7名配置していました。本務職員は、平成29年度から1名のみ配置となっています。平成18年度との比較になりますが、人件費関係で令和3年度決算時点までに2億760万円余りの人件費が削減され、財政的な一定の成果はあるものと認識しています。

質 委託職員への移行により、人材の確保に苦労している現状があり、早急な対応が必要だと思いますが、

当局は現状をどのように捉えているのか。また、民間委託へ向けた今後の方向性を伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

喫緊に解決しなければいけない課題ということで、5月に開催される総合教育会議の中で方針を決めていければと考えています。

質 このような現状を踏まえ村長の見解を伺う。

答 村長（長浜 善司）

これからは給食センターも民間の持つ専門知識、また経営能力、技術等の活用で学校給食がさらに運営できるのではないかと考えています。新年度に行われます総合教育会議において方針を決めてまいりたいと思います。



恩納村結婚新生活支援事業について

質 近年の実績数が令和2年度が5件、令和3年度が3件、あまり活用されていないように思うのですが、今後の課題を伺う。

答 企画課長（喜久山 隆）

平成30年度から令和3年度までで20件実績があります。8件が村外へ転居しているところも考慮して、事業継続を含めた総合的な検討が必要だと考えています。

提 このような支援はとても助かりますし、定住化促進になり、少子化対策にもつながると思います。使い道が限られているので、お祝い金のような内容にして資金に悩む若者の結婚を後押しするよう柔軟な支援事業にしてはどうかと提案します。

本村の水道管（管路）の現状について

質 管路の耐用年数が40年で、全国的に老朽化が進み、改修や耐震化が必要な時期になっています。本村の現状を伺う。

答 上下水道課長（新城 綱規）

経過年数についてですが、1996年までに村全域に上水道布設が完了しています。多くの配水管が経年による老朽化が進み大規模な更新時期を迎えております。耐用年数を超過している管は、65・3%です。管路の更新率についてですが、送水管が18・1%、配水管5・7%、配水支管が6・2%です。

質 本村も大規模な更新時期を迎えていることが分かりました。耐震化更新率について、沖縄では平均で30・4%、そこ比べると恩納村は少し遅れているのかと感じます。今後の耐震化や管路更新の計画を伺う。

答 上下水道課長（新城 綱規）

財政事情も考慮し、優先的に整備する必要性の高いものを10年目標で実施し、将来は水道施設全体を完全に耐震化する計画です。



▲水道管の現状